

2021.5.2022

山形銀行が全額出資
歯止めをかけるため、
2020年4月に
地方創生の先行的な取
り組みとして『山形成
長戦略プロジェクト』
を2012年に立ち上
げた。向こう10年で起
るであろう産業の創出と

地方銀行が県内企業を支援

この得る県内GDPの
減少(約2000億
円)、雇用の減少(2
万7000人)を20
12年の現状並みに維
持することを数値目標
とし、山形銀行が、産
業の黒子ではなく、自
らが産業の主体となっ
て新たなビジネスを創
造し、地域経済の活性
化を図るための活動を
開始した(飯野直・
TRYパートナーズ代
表取締役)という。

産業集積地の構築を目
指すため、鶴岡と采沢
拠点の新設を支援し、
ベンチャー企業の代表
者に行員を派遣するな
どした。

県産品の魅力を県内外に発信

飯野直・TRYパートナーズ代表は、人事制度関連以外の業務をも
っと広げていきたい。組織人事以
外に手掛けていない領域がまだま
た多すぎると感じている。限
立当初は、山形県内の人材でやって
いるので他社
とのアライアンスもより一層進め
ていきたい。地銀系の子会社なら
TRYパートナーズでは、ビジネスモデルが少し見え
ない。地域商社事業では、
製品の販売を支援する
ほか、顧客の企業価値
向上に向けて、企画段
階より顧客に寄り添っ
たマーケティングやブ
ランディング等を行っ
ている。

山形銀行で
は、2012年
から「山形成長
戦略プロジェクト」に取り組ん
できた。

山形銀行・TRYパートナーズ

「当時、『今
後30年間で山形
県内の人口は30
万人減少する』
という予測に直
面し、山形県の
リーディングバンクと
して強い危機感を覚え
た。山形県の成長なく
して山形銀行の成長は
ないという考えのも
と、地域経済の衰退に
歯止めをかけるため、
2020年4月に
地方創生の先行的な取
り組みとして『山形成
長戦略プロジェクト』
を2012年に立ち上
げた。向こう10年で起
るであろう産業の創出と



TRYパートナーズの朝礼風景

地域商社事業では、
製品の販売を支援する
ほか、顧客の企業価値
向上に向けて、企画段
階より顧客に寄り添っ
たマーケティングやブ
ランディング等を行っ
ている。

山形銀行が全額出資
歯止めをかけるため、
2020年4月に
地方創生の先行的な取
り組みとして『山形成
長戦略プロジェクト』
を2012年に立ち上
げた。向こう10年で起
るであろう産業の創出と

今の時代にもマッチ

TRYパートナーズのコンサルティング事業
を支援する林正和・日本生産性本部
を支援する林正和・日本生産性本部
を支援する林正和・日本生産性本部



環境は厳しく、人口減
少、法人の減少により、
融資での収益が減少
し、銀行としても新し
いビジネスへの期待は大きい。TRY

コンサルタントの話
地方銀行を取り巻く
環境は厳しく、人口減
少、法人の減少により、
融資での収益が減少
し、銀行としても新し
いビジネスへの期待は大きい。TRY

度構築のニーズはかかなりあると感じた。

度構築のニーズはかかなりあると感じた。

パートナーズのような銀行子会社は、コンサ
ルティングを通して、地元企業の悩みの相談
役としてお役に立てることができ、時代にマ
ッチしている。

私は、人事制度の構築を中心に支援してい
る。中小企業では、社長が独断で社員を評価
して、賃金を決定している会社もあり、若手
社員の不信感につながっていることも多い。

今はTRYパートナーズのスタッフと同行
している。それには融資が絡むので、銀行本体
との関係を整理していく必要がある。今後、
新型コロナウイルス関連の融資の返済に苦慮
する会社が出てくるので、企業再生にはかな
り難しい。再生案件を上手に取り込
んでいければ、さらに成長の余地はある。

営業に同行してみても、従業員100人以上の
企業だけでなく、50人以下の企業でも人事制
度構築のニーズはかかなりあると感じた。

営業に同行してみても、従業員100人以上の
企業だけでなく、50人以下の企業でも人事制
度構築のニーズはかかなりあると感じた。

営業に同行してみても、従業員100人以上の
企業だけでなく、50人以下の企業でも人事制
度構築のニーズはかかなりあると感じた。

度構築のニーズはかかなりあると感じた。

度構築のニーズはかかなりあると感じた。

度構築のニーズはかかなりあると感じた。